

# 歯は口より、 ものを言い!?

小池デンタル  
クリニック発



女性は  
歯周病になりやすい??

『子どもにカルシウムをとられて歯が弱くなった』という  
ことを聞いたことはありませんか?

結論から言えばこれは迷信です。

どうしてこのように言われるようになったのでしょうか?

妊娠中に歯ぐきが腫れ、歯が痛くなり、それからどうも調子  
子が良くないといった人が多いのは事実だからです。

ではなぜ妊娠中にお口の状態が悪くなるのでしょうか?

実は『歯周病病原菌』は『女性ホルモン』が大好きなん  
です!

『女性ホルモン』が増えると『歯周病菌』も増え、減ると  
同じく減る。

そのために妊娠中は『歯周病菌』は“5倍”にも増えてし  
まいます。

この増えてしまった『歯周病菌』によって歯周病が悪化し、  
結果としてお口の中が弱くなってしまいます。

さらに『歯周病菌』はおなかの赤ちゃんに悪さをして、  
『早産』、『低体重児』を引き起こすといったこともあり  
ます(発生確率7.5倍とされています)。

また、妊娠中のつわりで吐いた場合、うがいもせずにとら  
胃液(酸)で歯が溶かされます。

炭酸飲料(酸)で歯が溶けると聞きますよね?

胃液(酸)は魚の骨だって溶かしてくれる酸です。

歯の表面が溶かされて弱くなれば『虫歯菌』だって歯を  
削るのが楽になります。

ですから妊娠中、お口の中は悪くなりやすいんです。

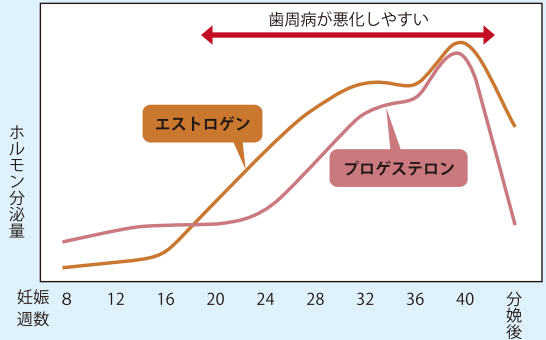
もちろん、しっかりブラークコントロールをしていればひ  
どく悪化したりはしませんが…。

さて、『歯周病菌』が『女性ホルモン』を好きってことは  
『女性ホルモン』が増える時期には歯周病が悪化すると  
いうわけですから、思春期もこれにあてはまります。

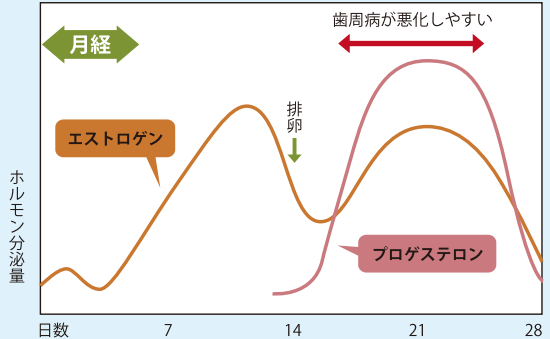
また、毎月の月経のたびに歯周病の悪化がしやすい時  
期があります。

これらを表にまとめたものを掲載しておきます。

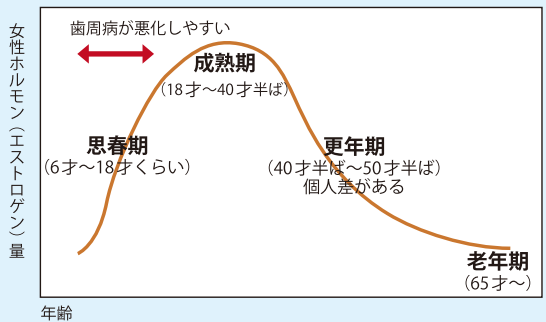
## 妊娠中の女性ホルモンは?



## 月経前は歯ぐきが腫れやすい!



## 女性の人生と女性ホルモン



女性は男性よりも歯周病に対して不利であることが充分  
理解できたでしょうか。

しっかりしたブラークコントロールを行うことで『歯周病  
菌』に負けないように頑張りましょう!

最後になりましたが、9月から福山市が妊婦歯科健診の  
無料実施を行っています。今までに当クリニックで小池病  
院妊婦歯科健診を受診された方は必要ありませんが、ま  
だされてない方はこれを機会に受診されてはいかがでしょうか?

院長 小池秀行

歯学博士 日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、プ  
リッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、  
機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯  
科医師です。

社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>